

川越キャンパス連合育成会の歩みと今後の展開

1 これまでの活動と新組織への移行

- 工学部連合育成会発足（平成18年）⇒川越キャンパス連合育成会（平成21年より名称変更）
同窓会の連合体として発足し、大学の支援と卒業時の終身会費および卒業生の寄附等によって活動
- 在校生支援活動
○寄附講座（総合D ⇒ 実践職業論、総合E）○企業見学バスツアー ○就職支援 ○学生表彰 他
- パンフレットの作成と広報活動
○パンフレット（No. 1～No. 9）の作成（オープンキャンパス、在校生、卒業生、校友会等に配布）
○ホームページにて情報発信 ○サロンにて交流
○川越キャンパス開設50周年記念
（各種記念イベント、マスコットキャラクター“こもれビー”の誕生、川越キャンパスの歴史をパネルとポストカードで表現、中央広場の椅子とテーブルをこもれびの森のヒノキで製作、“こもれビー”落語会 他）
○東洋大学創立125周年記念（ホームカミングデー、キャンパスツアー、合同交流会 他）
- 各学科同窓会の再構築と活性化
5学科の同窓会から発足し、その後2学科と新学科が加入して、現在10学科の同窓会が活動している。各学科同窓会は連合育成会と連携し大学の発展に寄与してきた。
- 平成27年度の1年間を準備期間とし、大学と同窓会のさらなる発展に向け新たな組織に移行
平成27年度を移行準備期間とし、平成28年度より新組織にて活動する。



2 新組織の名称と組織図(案)

- 川越キャンパス同窓協働会（仮称：平成28年度より活動開始予定）
川越キャンパス全教職員と卒業生はともに同窓であり、両者の絆を築き、協働して在校生のキャリア形成、就職活動などの支援を行い、各学科同窓会の親睦を図りながら在校生のレベルアップと大学の発展に寄与することを目的とする。

川越キャンパス同窓協働会（仮称）



3 川越キャンパス 同窓協働会(仮称)の活動

■川越キャンパス同窓協働会委員会を設置

川越キャンパスの全教職員が主導となり、各学科同窓会と連携して同窓協働会委員会(仮称)を立ち上げ、平成28年度より発足する会の具体的な議案を検討する。委員(案)は理工学部長、総合情報学部長、各学科教員代表、川越事務部長、同窓会連合代表および各学科同窓会代表とする。

■在校生支援活動

連合育成会活動で行っていた寄附講座、キャリア・就職支援活動を大学主導で同窓会と協働で行う。特に、平成28年度のカリキュラム改正に伴い、卒業生による実践職業論を充実する。

■川越キャンパス同窓(全教職員、在校生、卒業生)の交流企画

各種講演会、川越キャンパス版ホームカミングデー、懇親会、こもれび祭への参加 他

■各学科教員と同窓会との一体化

各学科教員は同窓会の活動を支援するとともに同窓会の協力を仰ぐ。両者が一体化することによって大学の発展に寄与する。

■川越キャンパス同窓会室

これまでの育成会室を同窓会室と改め、卒業生が集い在校生と触れあうサロンとして活用する。

■社会との連携

企業、官庁、市民と連携したイベントを開催する。

4 大学、在校生、卒業生の メリットと役割

■大学のメリットと役割

【メリット】川越キャンパス在校生のレベルアップを図り、受験者増につなげる。

【役割】卒業生と連携し、大学が発展するための企画立案、予算化および協力要請などを行う。また、同窓会に協力を仰ぐ立場として、同窓会の活動に必要な会費集金を全学科で協力する。

■在校生のメリットと役割

【メリット】在校生は大学が企画した、卒業生による寄附講座、キャリア・就職支援行事等に参加し、学ぶための意識づけや社会で必要とされる専門知識などを修得する。また、多くの卒業生と触れることによって、活動範囲の拡大や実務社会に視野が広がる。

【役割】卒業時には同窓会会員となるべく同窓会会費を納付し、同窓会活動での親睦を深めるとともに後輩への支援に寄与する。

■卒業生のメリットと役割

【メリット】母校と連携し講座やリクルート活動をすることによって自身のレベルアップにつながる。同窓会活動に積極的に参加し親睦を図ることによって仕事の面での視野が広がる。同窓会の会費の集金率が上がり、同窓会活動がさらに活発化する。

【役割】在校生を支援するために、大学と協力して人材の発掘に努める。また、卒業生同志の親睦を深め、母校の発展のために帰属意識を高める。

5 各学科同窓会活動の活性化と、大学や校友会との連携

■同窓会連合規程の作成と情報伝達

各学科同窓会の連合体を「同窓会連合」とし、活動拠点はこれまで通り川越キャンパスに置く。各学科同窓会への情報発信や卒業生の活動状況を把握し大学へ伝達する機能が必要となる。そのためには川越キャンパスに同窓会室を置き、同窓会連合(各学科同窓会の集合体)と連携する必要がある。同窓会連合の活動に関する規程を準備期間に作成する。平成25年度までの連合育成会“こもれび”カード保持者(連合育成会終身会員および寄附者)への対応についても今後検討する。

■組織の活性化と人材発掘

各学科の同窓協働会教員代表と連携し、在校生支援に協力していただける卒業生の情報を収集し、同窓会活動を活発化するとともにさらなる人材発掘を推進する。

■校友会との連携

川越キャンパス同窓会連合は校友会と連携し、校友会の発展に寄与するとともに川越キャンパス同窓会活動を活発化する。



東洋大学創立125周年記念・ホームカミングデー



2012 H.24

連合育成会大会・パネルディスカッション



2013 H.25



連合育成会からの移行



2015 H.27